

## 姉妹都市との史実を理解し厚岸町の歴史を学ぶ

北海道厚岸翔洋高等学校 学級数6 (校長 亀山 喜明)

平成29年9月28日、北海道厚岸翔洋高等学校体育館において、「北海道みんなの日」条例に基づき、講演会を実施した。生徒はオーストラリアのクラレンス市と姉妹都市となった経緯や史実等について学び、厚岸町の歴史について理解を深めた。

厚岸町海事記念館の熊崎農夫博学芸員が講師を務め、「日鑑記に見る異国船来校～友好のかけはし～」と題して講演を行った。講演では、江戸時代の厚岸・釧路・根室などの様子が記された、国泰寺所蔵の国の重要文化財「日鑑記」に記載のある三隻の異国船来航について解説された。来航した三隻の内、一隻は当時のイギリス領オーストラリアのタスマニア島にあるホバート港を出港した捕鯨船イーモン号で、1850年に末広沖約330メートルで座礁し、船から脱出し上陸した乗組員32人は救助され、厚岸で取り調べを受けた後、函館を経て長崎の出島からオーストラリアに送還された。

熊崎学芸員は当時の外交事情などを交えて、1982年の厚岸町とクラレンス市との姉妹都市提携や、その後の国際交流活動につながった経緯を説明した。最後に「今後も交流を続け、友好のかけ橋となり活躍してほしい。」と生徒たちに呼びかけた。生徒の一人は「厚岸町の歴史をあらためて知るとともに、クラレンス市との関係を知ることができた。」と喜んで話していた。

また、この日は来年3月に厚岸町姉妹都市中学生等国際交流事業でクラレンス市にホームステイを予定している、厚岸町立真龍中学校の生徒6人も出席した。厚岸翔洋高校から参加する生徒2人と共にステージに上がり、生徒会からのインタビューの後、全校生徒から激励の拍手を受けた。



【姉妹都市オーストラリア・クラレンス市との歴史的関係について理解を深めた】